

多の缺陷弊害が感ぜられざるを要する。尤もこれ等は工業立地の諸條件に適合したから工場が集中したものであるといふ面を忘れてならない。工業の性質によつて部品製造、修理、原料、労務、運輸等工場経営の凡ゆる点に於て、多くの工業に對する適地は概して言へば在來からの該工業の所在地域は現在の工業中心地であると言ひ得る。

然し新しい情勢の下に工場が地方へ分散する場合に於ては個々の工業の立地條件に従つて分散配置せられ、それ等が充分機能を發揮するには企業集團的に系列的に形成せしむる必要がある。勿論この場合に於ては、企業の性質によつては或る程度の集中が行はれ人口は

勢ひ相當の大きさに達せねばならず、動力、原料その他本來の工業立地條件の外に交通、教育、住宅、娯樂、衛生、水道その他百般の社會施設が防空上の考慮を拂つて整備せられねばならない。

五、即ち、斯の如き工業地域はそれか地方都市を母体として成長する場合にせよ、純然たる農村に新しく設置せられる場合にせよ、全国的に萬遍なく分散せしめらるべきではない。企業の中核工場の立地が決められ、それに関連する各種の工業が夫々の立地條件に従つて分散方式を採らねばならぬ。多くの種類の工業は（機械工業、織物工業等に見る如く）地方に分散せしむることか可能であり、現在の四大工業地域の状況は